

## 第2回 岩盤不連続面の室内せん断試験方法基準化 WG 議事録

日 時：平成18年11月13日(月) 13:30～17:10

場 所：地盤工学会 3階中会議室

参加者：

江崎, 楠見, 岡田, 上西, 岡田, (鈴木), 西山, (平川), 船戸, 矢島, 矢野, (吉田),  
(若林), 三谷(文責) <カッコは欠席者, 敬称略>

### 配付資料

資料2-0：第1回 WG 議事録

資料2-1：地盤工学会室内試験規格・基準委員会組織図

資料2-2：岩盤不連続面の室内せん断試験方法基準 ver.01

資料2-3：岩盤不連続面の室内せん断試験方法基準解説目次 ver.01

資料2-4：「4. 試験装置」基準 ver.02, 解説目次 ver.02

資料2-5：「5. 供試体」基準 ver.02

資料2-6：「5. 供試体」解説目次 ver.02

資料2-7：「6. 試験方法」基準 ver.02, 解説目次 ver.02

資料2-8：室内せん断試験方法基準 ver.01 に対するコメント

### 議事内容

#### 1. 議事録確認

第1回 WG 議事録について確認を行った。

#### 2. 地盤工学会室内試験規格・基準委員会報告

三谷委員から 10/27 に開催された室内試験規格・基準委員会の報告があった。主たる報告事項は、1) 委員会の目的、2) 組織構成、WG の位置づけについて、3) 今年度予算、4) 議事録公開についてであった。

WG メンバーから、室内試験規格・基準委員会に以下の点を確認するよう意見があった。

「現在検討している基準と ISO, JTC との関係については、どういう関係になるのか。具体的には、我々が検討している基準と国際規格がどういう関係にあるのか、情報を逐次入手してほしい」という意見があった。

これについては、三谷委員が規格・基準委員会に問い合わせ、確認を行うこととなった。

### 3. 委員会活動計画と検討方針について

前回配布した今後の予定を元に、スケジュールの再確認を行った。

(ただし、今回のWGで予定の議論までできなかったため、急遽、12月に再度WGを招集することとなった。)

### 4. 室内せん断試験方法基準 ver.01 について

・室内せん断試験方法基準 ver.01 を元に各メンバーが作成した ver.02 中の「1. 適用範囲」、「2. 引用規格」、「3. 定義」、「4. 試験装置」についてWGで討議を行いながら、一部、加筆する部分もあるものの、ほぼ最終案まで作成した。

・具体的な基準 ver.03 については、添付資料を参照すること。

(今回配布する資料を ver.3 として取り扱ってください。)

### 5. その他

・今回は、時間の都合で「5. 供試体」、「6. 試験方法」、「7. 試験結果の整理」、「8. 報告事項」については、議論を行えなかった。ただし、「5. 供試体」、「6. 試験方法」については、各担当が考えている疑問点、問題点について報告があり、これについては、メール会議にて意見を収集し、各担当が集約することとなった。また、「7. 試験結果の整理」、「8. 報告事項」については、どうしても前半部分が固まらないことには、不確定要素が多いことから、「6. 試験方法」までを確定して取り組むこととした。

・また、同様に室内せん断試験方法基準解説目次 ver.01 についても議論をする時間がなかった。

・「5. 供試体」以降については、今回の議論を元に各担当で手を加えた上で、12/11(月)に再度WGを招集し、議論を行うこととなった。この段階で、基準については最終段階を作成し、規格・基準委員会に提出することで合意した。

・次回予定：12/11(月) 13:30～ 地盤工学会3階中会議室